

○水生生物モニタリング調査結果一覧（請戸川N）

<請戸川N 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
N-1	○	○	○	○	○	○
N-2	○	○	○	—	○	—
N-3	○	○	○	—	○	—

<請戸川N 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
N-1	37.4998°	140.9835°	R4.12.5	08:07	08:15	8.7	9.9	砂礫	7.5Y5/3	植物片	0.30	>100
N-2	37.5070°	140.9456°		09:53	09:53	5.6	8.8	砂	7.5Y6/3	植物片	0.30	>100
N-3	37.4754°	140.9598°		11:57	12:05	6.3	7.7	砂	7.5Y6/3	植物片	0.40	>100

<請戸川N 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
N-1	37.4998°	140.9835°	R4.12.5	08:07	7.1	1.1	2.3	11.1	9.2	0.05	1.5	<1	0.6	0.0025	0.058	0.0020
N-2	37.5070°	140.9456°		09:53	7.3	<0.5	1.8	11.6	7.5	0.04	0.8	<1	0.4	0.0019	0.066	—
N-3	37.4754°	140.9598°		11:57	7.4	0.6	1.8	11.9	7.6	0.04	0.6	2	1.3	N.D. (0.0015)	0.020	—

注) N.D. は、not detected (検出下限値未満) を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<請戸川N 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
N-1	37.4998°	140.9835°	R4.12.5	08:15	7.0	325	18.5	0.9	1.9	2.630	25.6	27.5	32.5	7.5	2.9	4.0	0.93	19	37	1500	N.D. (0.13)
N-2	37.5070°	140.9456°		09:53	7.2	488	22.7	1.1	1.8	2.650	6.0	16.1	40.4	33.0	1.8	2.7	0.34	4.8	100	4000	—
N-3	37.4754°	140.9598°		12:05	7.4	486	13.9	0.9	1.5	2.640	0.0	8.8	74.8	9.5	4.0	2.9	0.50	2.0	27	1000	—

注) N.D. は、not detected (検出下限値未満) を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

< 請戸川N 分析項目 水生生物 >

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
N-1	請戸川本流	37.4998°	140.9835°	R4.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.021	—	—	—	190	N. D. (9.8)	190	—	
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	260	0.018	幼虫	—	—	—	12	N. D. (2.8)	12	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	121	0.033	幼虫	—	—	—	200	N. D. (7.5)	200	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.46	成魚	ヌレヒ	内臓除去	308.3	8.3	300	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	28	1.2	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	132.6	2.6	130	1.0	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	0.24	未成魚	不明消化物	内臓除去	9.7	N. D. (1.3)	9.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	16	0.17	未成魚	—	—	216.0	6.0	210	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.29	成魚	空胃	内臓除去	234.6	4.6	230	—	
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	0.24	—	—	—	164.3	4.3	160	—		
N-2	請戸川本流	37.5070°	140.9456°	R4.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.036	—	—	—	176.9	6.9	170	—	
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	232	0.011	幼虫	—	—	30	N. D. (3.5)	30	—	
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ										
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Paragnetina</i> sp.	クラカケカワゲラ属										
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	206	0.048	幼虫	—	—	278.5	8.5	270	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	9	0.25	未成魚/成魚	—	—	184.0	4.0	180	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.094	成魚	不明消化物	内臓除去	100	N. D. (3.2)	100	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	0.085	未成魚	不明消化物	内臓除去	89	N. D. (2.8)	89	—	
脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.93	成魚	フケシヨウ	内臓除去	1433	33	1400	—						
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	0.22	—	—	93	N. D. (1.8)	93	—			
N-3	高瀬川本流	37.4754°	140.9598°	R4.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.011	—	—	—	150	N. D. (12)	150	—	
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	365	0.020	幼虫	—	—	7.6	N. D. (2.2)	7.6	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	478	0.10	幼虫	—	—	123.7	3.7	120	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ	5	0.010	成魚	—	—	37	N. D. (8.9)	37	—	
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	0.21	—	—	98.8	2.8

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。